

ご存じですか！文化財

86

善定寺の「光明真言百万遍供養塔」



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



所在地 琴寄195

大利根地域の善定寺の格式ある四脚門を入り、本堂に向かって進むと、右側に高さ25mほどの光明真言百万遍供養塔が6基並んでいます。

これは、百万遍念誦達成の記念として、明治33(1900)年から2年ごとに建てられたものです。その台座には、630余人の結願者の氏名が刻まれています。

その由来は、明治30年7月に住職の石渡勝山が発起人となり、百万遍講を設立したことによるものとされます。

念誦は、毎月15日の9時から16時まで行われていました。10回目には、常時100人以上で唱和したので、百万遍を成就しました。

念誦の光明真言(呪文)の大意は、「行いを正しくしてこの呪文を唱えれば、大日如来らの功德により罪が消滅して、家内安全、無病息災の御利益を授かる」とのことです。

この百万遍講の信仰は、鎌倉時代に始まり、密教系の真言宗・天台宗により普及しました。

この供養塔は、当時の民間信仰を今に伝える貴重な文化財です。



紹介者 小沼 良市さん(旗井)